

所報

所長あいさつ

所長 與儀 千寿子

四月一日に委嘱状を頂き、週三日の研究生活が始まりました。心の準備もできないままに二週間が過ぎてしまいました。指導主事一名、「まていだ教室」担当三名、教育相談員四名、研究教員一名（常勤三名・非常勤七名）の家族的なスタートです。教育研究所が学校現場の要望にだけ応えようのか不安もありますが、校長先生をはじめ先生方のご意見を聞きながら頑張り、教育研究所の役割は何と言っても教師の指導力向上、「魅力的な授業づくり」に寄与することだと考えています。また、各校が抱える課題についても確に把握し、各学校の関係機関と連携を図りながら、研修事業の充実を努めたいと思います。さて、教育研究所が平成十八年にスタートしてから五年目になりました。長期研修員も七名の修了生を出しています。那覇市教育研究所が五十年の歴史を持つことを市教育研究所も二十年の歴史を持つことを考えるに、宮古島の教育研究の事業はまだまだ緒に就いてばかりと言えそうです。しかし、長年の念願が叶ってできた研究所です。しかし、重要な点も思いがたかです。積み重ねていくことが、そのために、学校現場のニーズに具体的な実践ができるのか、常に問い続け、具体的な実践に結びつくことのできる研究を発信し続けることだと考えます。今期の研究員は中学校国語担当の仲樹京先生、テーマは「話すこと」の聞き取りの力を育てる指導の工夫です。目的や場面に合わせた言語活動を通して、これまで以上に心を育つ指導の工夫です。これまで以上に心を育つ指導の工夫です。これまで以上に心を育つ指導の工夫です。

【まていだ教室】

安心できる居場所づくりを！

今年4月から適応指導教室「まていだ教室」の担当になりました。さまざまな心の問題を抱えて来る子どもたちとあたたかくふれ合うことを教室経営の柱にし、3人で協力し合い頑張っていきたいと思えます。

最終的には、不登校の子どもたちを学校復帰に向けて支援していかなければいけません。まず安心できるような居場所づくりができるよう心がけたいと思えます。そのためには、一人一人との信頼関係を大切に、個性に応じた支援の仕方を常に考え努力していきたいと思えます。

まていだ教室では、学習活動や体験活動等を通して、自分の思いや願いを人に伝え、人と関わりながら生活していくことの大切さを指導していきたいと思えます。

学校をはじめ、いろいろな関連機関の方々にお世話になると思えます。ご指導、ご支援をよろしくお願ひします。



指導教諭 亀川 典子
指導員 前川 尚代
指導員 砂川 さつき

【教育相談室】

心と心のふれあいを大切に！

近年、児童生徒を取り巻く環境が複雑化し、子ども達の成長過程に様々な影響を及ぼしています。宮古島市においても、いじめ、不登校、暴力等の問題行動や友人関係、家庭環境等の悩みを抱える児童生徒が増加傾向にあり、憂慮すべき状況です。

教育相談室では、それらの問題解決にむけて微力ながら児童生徒・教師・保護者の皆さんへの支援ができればと願っています。

問題の解決は、子どもや保護者に「現状を改善したい」という前向きな気持ちがあれば、必ずその糸口が見つかります。私たちは、どんな相談にも真摯に向き合い「心と心のふれあい」を大切に、誰でも安心して相談ができるようにしたいと考えています。それに、適応教室やSSW・巡回相談員等との連携を密にし、適切な対応をしていきます。相談者一人一人との「一期一会」を念頭に児童生徒が学校や社会に向けて明るい一歩が踏み出せるような支援に努めていきたいと、相談員一同、心を1つにしています。

よろしくお願ひします。

<相談員>

濱元誠喜 狩俣芳子 立津和代 宮平幸子